TSTB-002

地上デジタルチューナー

Digital Tuner

取扱説明書

製品のお問い合わせは

株式会社 ティー・エム・ワイ

サポートセンター

【受付時間】平日10:00〜18:00

ナビダイヤル 0570-064-440

TSTB-002

地上デジタルチューナー

取扱説明書

目 次

仕様

受信方式		地上デジタル放送
地上デジタル放送　受信チャンネル		UHF 13ch～62ch　CATVパススルー対応
アンテナ入力		F型コネクター
出力端子	映像	コンポジット映像端子（RCAピン端子）、S-ビデオ端子
	音声	ステレオ音声端子（RCAピン）
電源		AC100V　50/60Hz　DC6.5V
消費電力		6.5W（待機モード時：1W以下）
本体サイズ		146（W） x 35（H） x 146（D）mm
重量		240g
動作環境		温度：0～35℃、湿度：10～50%（結露なきこと）
付属品		B-CASカード、リモコン、AV接続ケーブル、 ACアダプター（電源コード）、取扱説明書、保証書

1) 本製品では字幕・文字スーパーを除いたデータ放送サービス、双方向サービスには対応しておりません。
また本製品で地上アナログ放送の受信はできません。
2) 本製品は電子番組表（EPG：3日間分）と字幕・文字スーパーに対応しています。

■保証について

付属の保証書にて保証内容をご確認ください。
本製品についてのお問い合わせは、裏面に記載してある弊社サポートセンターまでお願いいたします。

画面メッセージ	コード	内容
データ取得中です しばらく待って操作 してください	--	・EPG を表示できない状態で PGE ボタンが押されたとき（放送波からの時刻情報が取れていないとき） ・アクションがなければ、5 秒後にメッセージを消去する
緊急放送が開始され ました 「決定」でチャンネル が切り替わります	--	・緊急放送が開始されたとき ・受信状態は継続する ・アクションがなければ、メッセージを継続する
受信できないチャン ネルがあれば、 チャンネル設定を 行ってください	--	・チャンネルリパッキングを受信した場合で、変更日付から 5 日間電源投入後に表示する ・受信状態は、ラストチャンネルで継続する ・アクションがなければ、メッセージを継続する
（メニュー）ボタンを 押して「放送メール」 を確認してください	--	・放送メールを受信したとき ・ES ダウンロードが完了したとき ・通常受信を継続する ・アクションがなければ、10 秒間メッセージ表示を継続する
ソフトウェアの アップデートが実施 されます Xxxx年xx月xx日 xx時xx分の前後 ３０分は待機状態に してください	--	・ES ダウンロードの通知を受信したとき ・通常受信を継続する ・アクションがなければ、10 秒間メッセージ表示を継続する

ごあいさつ

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みのうえ、安全にお使いください。
本書は、いつでも見られるところに保管してください。

画面メッセージ	コード	内容
このチャンネルは放送されていません	**E200**	・非放送番組を選局した場合
受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください	**E201** **E202**	・信号レベルが低下して受信できない場合
このチャンネルは放送されていません	**E203**	・選局したら「休止中」だった場合 ・見ていたチャンネルが「休止中」になった場合
無効なチャンネル番号です	**E204**	・３桁番号で指定されたチャンネルが存在しない場合（指定された時点で受信していた放送の映像をそのまま表示し、受信状態は継続する）このメッセージは「放送されていません」 ・「受信レベル低下」などのメッセージよりも優先する。（「受信レベル低下」が表示されていても、チャンネルボタン操作は可能であり、そのときに使えないチャンネル番号が操作された場合には、この表示を出力する） ・5 秒後、この表示がタイムアウトしたときに、元の表示に戻す
このチャンネルは放送されていません	**E210**	・選んだチャンネルのサービスに対応していない場合
B-CASカードを確認してください	**--**	・B-CAS カードが装着されていない場合 ・B-CAS カードからデータが読み出せない場合
このボタンはチャンネル登録されていません	**--**	・放送局が登録されていないダイレクトチャンネルボタンを押したとき（指定された時点で受信していた放送の映像をそのまま表示し、受信状態は継続する）
（メニュー）ボタンを押してチャンネル設定を行ってください	**--**	・チャンネルが未スキャンのとき
都道府県を設定してください	**--**	・チャンネルが未スキャンのとき

トラブルシューティング

故障かな?と思ったときは、下記の項目をもう一度チェックしてください。
それでも正常に作動しない場合は、必ず AC アダプターを抜いてから弊社サポートセンターにご連絡ください。

製品の状態	確認する事項
電源が入らない	・AC アダプターが、本製品と電源コンセントに正しくつながっていますか?
操作できない	・AC アダプターが、本製品と電源コンセントに正しくつながっていますか? ・AC アダプターを電源コンセントから抜き、再度つなげてください。 ・リモコンの電池は問題ありませんか?消耗している場合は新しい電池に交換してください。 ・リモコン上部(信号送信部)を本機正面に向けて操作していますか? 方向を確認して、本機のそばで操作をお試しください。 ・リモコンのチューナーボタンを押してチューナー操作用になっていることを確認してください。(15 ページをご参照ください)
視聴可能な放送局が登録できない/テレビの映りが悪い	・アンテナは正しくつながっていますか? ・アンテナの向きは正しいですか? ・チャンネルの設定は済んでいますか? ・B-CAS カードは正しくセットされていますか? ・アンテナは地上デジタル放送に対応していますか?
番組表に番組が表示されない	・番組情報の取得に時間が掛かっている場合があります。しばらくおまちください。ご覧になりたいチャンネルを表示し、番組表ボタンを押していただければそのチャンネルの番組表はご覧いただけます。
画面が縦長や横長に表示される	・お使いのテレビと設定が合っていません。メニューの「画面サイズボタン」で調整してください。 シネマサイズなどの一部番組では、完全に画面いっぱいに表示される場合があります。
チャンネルが変わらない	・電源を一度落とし、また電源を入れてみてください。 ・リモコンはチューナー操作用になっていますか?(P15 参照)。
画面が乱れる/画面が消える	・電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いて、10 秒以上待ってから再度 AC アダプターをコンセントに差し込み、電源を入れて動作を確認してください。

安上の注意

本製品を正しく安全にお使いいただくために、この章に書かれている注意事項を必ずお守りください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や重症を負う危険性があります。

本体および付属品を分解、改造をしない。

カード挿入口やすきまに金属や燃えやすいものを差し込まない。

本体および付属品をぬれた手で触らない。

本体および付属品に水をかけない。こぼれやすいものを近くに置かない。

コンセントと電源プラグの接続部のほこりを乾いた布で拭き取る。

コードに傷がある場合は使用しない。

本体に布をかぶせて使用しない。

通気孔をふさがない。設置のしかたにそって設置する。

熱を発生するものを本体のそばに置かない。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりする可能性があります。

お手入れの際は
乾いた布を使用する。

本体および付属品を
直射日光のあたる場所に
置かない。

本体および付属品を
湿気やほこりの多い場所に
置かない。

タコ足配線はしない。

雷が発生しているときは
電源プラグをコンセントから
抜いておく。

コードは踏んだりねじれたり
しないよう設置する。

電源プラグを抜くときは
電源プラグを持って抜く。
コードをひっぱらない。

本体に重いものを載せない。

ヘッドホンの音量に注意。

カートを使って運搬する
ときは、衝撃を与えない
よう注意する

電磁波を発生する電気製品
に近づけない。

使用しない場合や
お手入れの際は電源プラグ
をコンセントから抜いておく。

地上デジタル放送についての豆知識

地上デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン放送）多チャンネルのテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載しています。
地上デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができるため（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC 方式）、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに 5.1 チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

地上デジタル放送について

■地上デジタル（テレビジョン）放送とは

地上波の UHF 帯を使用した地上デジタル放送のことです。
（この取扱説明書では、「地上デジタル放送」と略して記載しています。）
現在行われているアナログ方式の地上放送は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

■地上デジタル放送の特徴

これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。
1. デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
2. 高音質放送（MPEG－2 AAC 方式）
3. ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明

■地上デジタル放送を受信するには

本機のほかに、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。

アナログ放送から地上デジタル放送への移行について

■地上デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、2006 年 12 月には全国都道府県庁所在地で放送が開始されています。その後放送エリアを順次拡大し、2011 年 7 月 24 日までに現行のアナログテレビ放送は終了します。

⚠ 注意

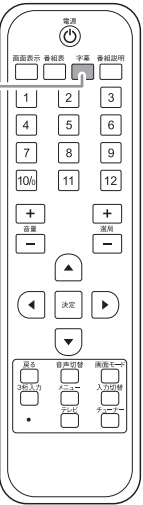
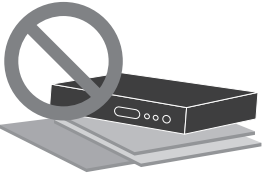
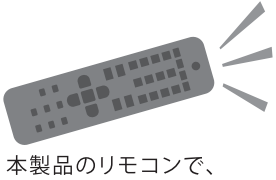
・本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面サイズ切り替え機能（ズーム）などを利用して画面の圧縮や引き伸ばしなど行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
・本機は、各種の画面切り替え機能を備えていますが、テレビ番組などの映像比率と異なる画面サイズを選びますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりすることがあります。製作者の意図を尊重したオリジナル映像は 4：3 映像の場合にはノーマルモードでご覧になれます。

字幕を切り替える

①メニューの「機器設定」の「字幕・文字スーパー」で「字幕」の項目を選択します。
リモコンの字幕 を押すたびに、以下のいずれかに設定できます。
メニューの「機器設定」の「音声切換」が設定できます。（32 ページをご参照ください）

第 1 言語⇒字幕なし　　第 2 言語⇒字幕なし

■使用するボタン

字幕ボタン

⚠ 注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりする可能性があります。

不安定な場所で使用しない。

本製品のリモコンで、他の家電が誤動作しないか確認する。

本体を運ぶ際には、購入時の梱包箱と緩衝剤を使用する。

本製品に衝撃を与えない。

再生中に動かさない。

⚠電池に関する注意

電池は＋と－の表示に
あわせて正しく入れる。

長期にわたって使用しない
場合は電池を取り外す。

使用済みの電池や有効期限
切れの電池を使用しない。

分解したり、加熱したり、
ショートさせたりしない。

電池を水で濡らさない。
湿気の多いところでは使用
しない。

指定された種類の
電池以外は使用しない。

火のそばや直射日光の
当たるところ、炎天下の車中
など、高温の場所で使用、
保管しない。

コイン、キー、ネックレスなど
の金属類と一緒に携帯、
保管しない。

お子様の手の届かない
ところに保管する。
万一飲み込んだ場合は直ち
に医師の指示を受ける。

電池が液漏れした場合は・・・
- 液に触れないよう注意して
  すぐに廃棄する。
- 新しい電池を入れる前に、
  電池ホルダーについた液を必ず拭き取る。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。皮膚に炎症やケガの症状があるときは医師に相談する。
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流す。失明の原因になることがあるため、直ちに医師に相談する。

電池を廃棄するときは
各地方自治体の処理・処分
の指示に従う。

ズームを切り替える

①リモコンの画面モード［画面モード］を押して、現在の状態を表示します。表示中に［画面モード］を押すとで、次のように切り替わります。
「ノーマル」⇒「フル」⇒「ズーム」

- 16：9 テレビの場合……ノーマル
- 4：3 テレビの場合……ノーマル→フル→ズーム

■使用するボタン

■メニューから画面サイズを設定

・ノーマルの場合（4：3 テレビを想定）

入力映像	画面モードボタンによる映像変化		
16:9映像	「ノーマル」	「フル」	「ズーム」

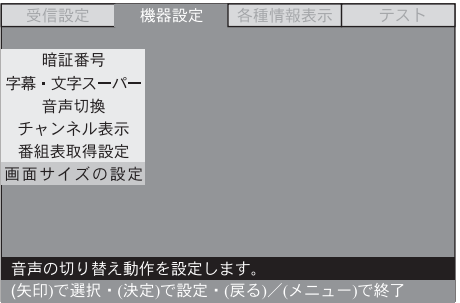
・ワイドの場合（16：9 テレビを想定）

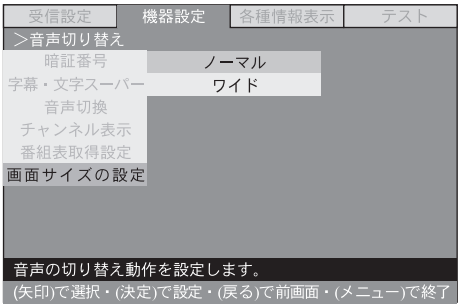
入力映像	画面モードボタンによる映像変化		
		⇐	⇐
16:9映像	「ノーマル」	⇐	⇐

［灰色］… 真円率を守るために付加する黒映像部分

［斜線］… 放送から送られてくる表示拡張領域外

テレビの画面サイズを設定する

①メニュー を押し、 で「機器設定」を選び、 で「画面サイズの設定」を選び、 を押します。

②で「ノーマル」と「ワイド」を選び、を押します。

■使用するボタン

・「ノーマル」：4：3 テレビを想定する場合に設定します。
・「ワイド」：16：9 テレビを想定する場合に設定します。

使用上のお願い

・この製品を使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
・本製品の仕様は改良および改善のため、予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・本書のイラストや、画面表示などは、見やすくするために拡大や簡略化しており、実際とは多少異なる部分があります。
・本製品には、モデム /LAN 端子は搭載されていません。そのため双方向番組サービスなど、一部ご利用になれないサービスがあります。あらかじめご了承ください。
・DVD レコーダーやビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人的に鑑賞する以外の用途には使用できません。権利者に無断で使用することは著作権法で禁止されています。また、本製品の不具合が原因で録画・録音できなかった場合でも、当社は一切保障いたしませんので、あらかじめご了承ください。
・地上デジタル放送についての内容、質問など詳細は社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。
社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）ホームページ　http://www.dpa.or.jp/
・本製品を廃棄または譲渡する場合は、個人情報保護のため、放送やユーザー設定によって本製品に登録した個人情報や暗証番号、デジタル受信設定を消去してください。
B-CAS カードの登録廃止、登録名義変更などについては（株）ビーエスコンディショナルアクセスシステムズ（カスタマーセンター TEL:0570-000-250）にお問い合わせください。
廃棄するときは、お住まいの地域の自治体が定める廃棄方法に従ってください。

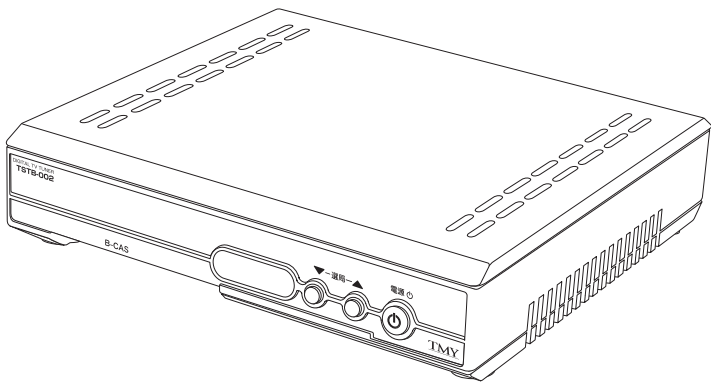
本製品に故障、異常を感じたときは、本書 P48 の「トラブルシューティング」をまずご確認ください。記載の対応で状態が改善されない場合は、ご自分で修理せず、TMY サポートセンターにご連絡ください。お問い合わせの際には本製品の型式をお知らせください。

株式会社ティー・エム・ワイ　　**サポートセンター：** **0570-064-440**

■免責事項

下記の損害や不利益については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害。
・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）。
・本書の記載事項を守らなかったために発生した、お客様ご自身や他の人の死亡、重傷、傷害、物的損害、危害や財産などの損害。
・接続機器との組合せによる誤動作などから生じた損害。

同梱品一覧

本製品をご使用いただく前に、以下の内容物がすべてそろっていることをご確認ください。

地上デジタルチューナー本体

リモコン

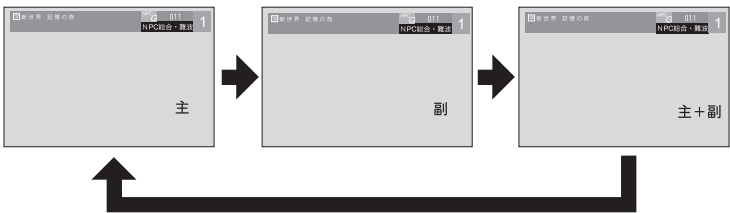
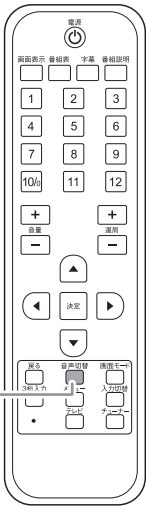
B-CASカード／ユーザー登録はがき

※リモコン用電池は同梱されていません。別途お買い求めください。（単４形電池２本）

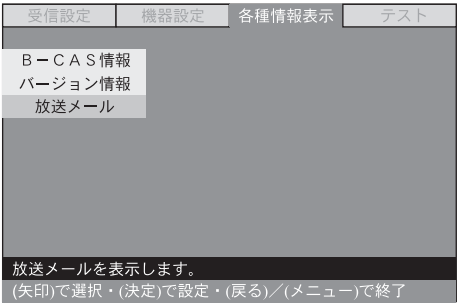
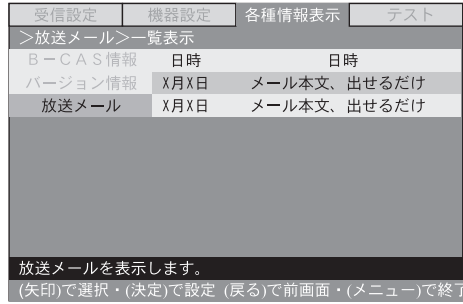
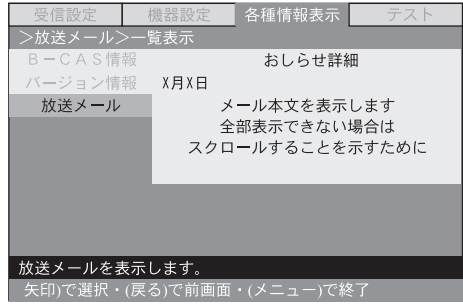
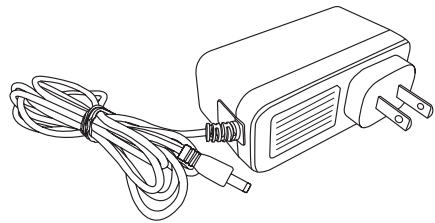
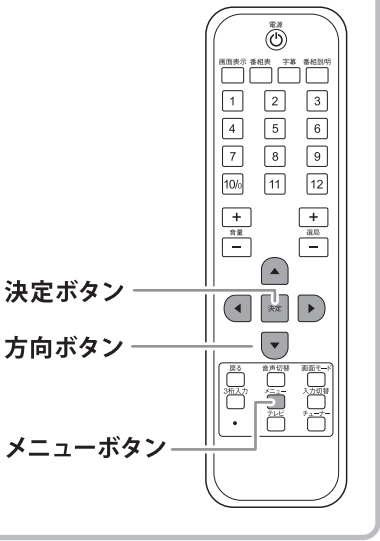
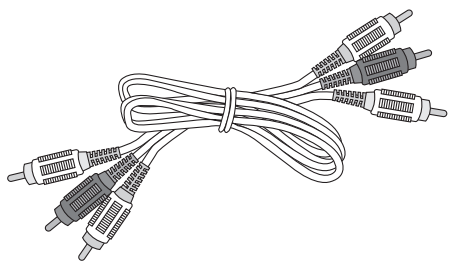
音声多重放送を楽しむ

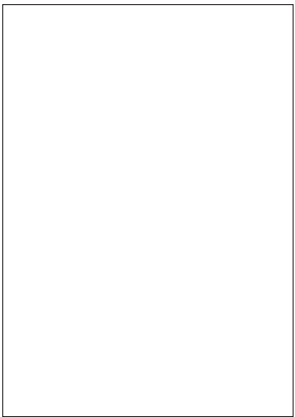
①音声多重放送（二カ国語など）の場合、音声切替 [音声切替] を押すたびに、二重やマルチ音声が切り替わります。メニューの「機器設定」の「音声切換」が設定できます。（33 ページをご参照ください）

音声表示内容表

放送音声	音声表示内容
二ヶ国語	主
	副
	主＋副
ステレオ	ステレオ
モノラル	モノラル

放送メールを見る

メールには、放送局からのお知らせや、本機の機能向上のためのダウンロード情報などがあります。メールは最大 10 通まで保存できます。10 件を超えるメールは、自動的に古いものから順に削除され、新しいメールが追加されます。

①メニュー を押し、◀ ▶で「各種情報表示」を選び、▲▼で「放送メール」を選び、決定を押します。

②▲▼で確認したいメールを選び、決定を押します。

③メールを確認した後にメニュー で終了します。

■使用するボタン

ACアダプター
（電源コード）

AV接続ケーブル

取扱説明書

保証書

※イラストは実物と異なる場合があります。

各部名称

本体前面

電源ランプ　赤：スタンバイ（待機）状態
オレンジ：ダウンロード実行中
緑：作動中

B-CASカード挿入口
同梱のB-CASカードの差し込み口です

リモコン受光部
リモコン信号を受け取る部分です。汚したり、ふさいだりしないでください

チャンネルボタン
放送チャンネルを順送り、逆送りします

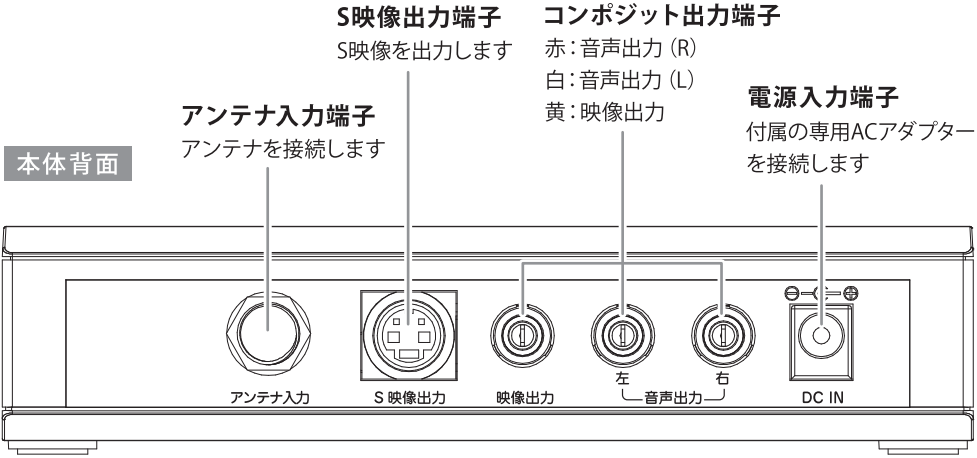
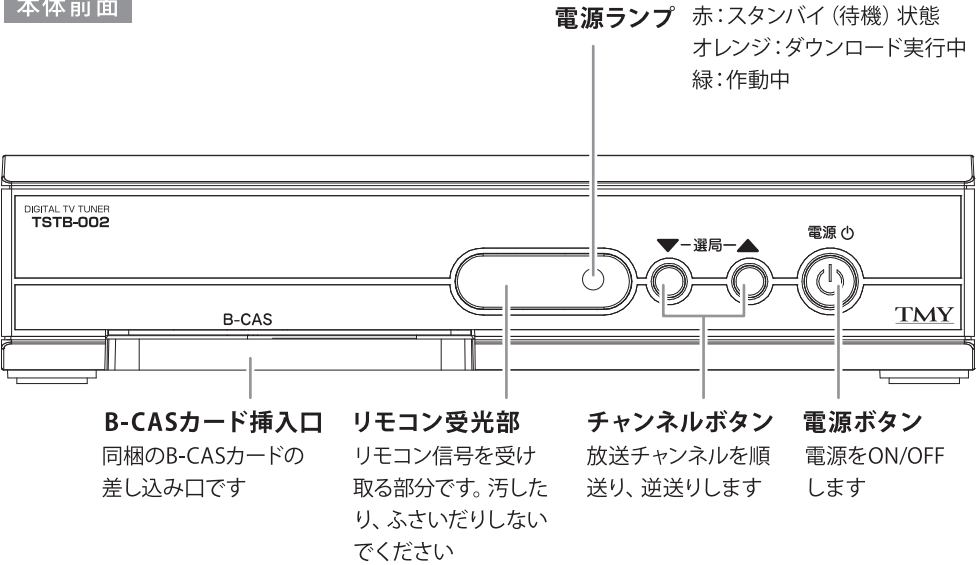
電源ボタン
電源をON/OFFします

本体背面

S映像出力端子
S映像を出力します

コンポジット出力端子
赤：音声出力（R）
白：音声出力（L）
黄：映像出力

電源入力端子
付属の専用ACアダプターを接続します

アンテナ入力端子
アンテナを接続します

番組表を見る

地上デジタル放送の番組を新聞などのテレビ欄のように表示できます。

①デジタル放送を視聴中に番組表 ▭ を押すと、番組表が表示されます。▲▼◀▶で項目を選び、番組情報 ▭ で番組の詳細が表示されます。

番　組　一　覧
関西のニュース　2/15(木)19:00-20:00

	NPC教育 難波 021 022 023	ＭＢＴ全日放送 041 042 043	難波テレビ 081 082
▲			
18時	夕方のニュース	MBTナウ	ハッピーゲット！
19時	難波のニュース	まほうのランプ	難波の女
20時	天気予報		ダイレクトニュース
21時	夜のニュース	レッツ フレンド	クイズ一攫千金
▼		あしかチャンネル	

（矢印）選択,（番組情報）詳細,（決定）選局,（戻る）/（番組表）終了

②番組詳細表示

番　組　詳　細

NPC　関西のニュース
021

時間　番組内容
18:30-18:45　今日はめちゃめちゃ寒かったですね。
今日の関西地方のニュースをお届けします。
2ヶ国語（日本語 英語）字幕（日本語 英語）

（番組情報）／（戻る）前画面,（決定）選局,（番組表）終了

■使用するボタン

番組情報を見る

①デジタル放送を視聴中に ▭ を押すと、番組情報が表示されます。表示中に ▭ を押すと表示が消えます。

番組を見る

準備

①B-CAS カードを挿入します。(16 ページの「B-CAS カードの挿入」をご参照ください)

②電源を接続します。(17 ページの「AC アダプターをつなぐ」をご参照ください)

③アンテナを接続します。(17 ページの「アンテナ線をつなぐ」をご参照ください)

④本体の電源スイッチを ON にします。

⑤地域を設定します。(21 ページの「地域を設定する」をご参照ください)

チャンネルを切り換える

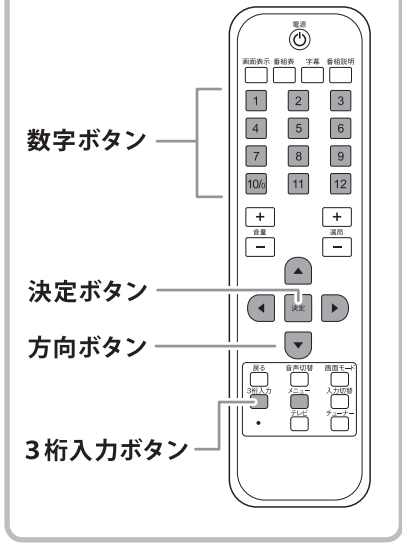
■割当チャンネルでの選局方法

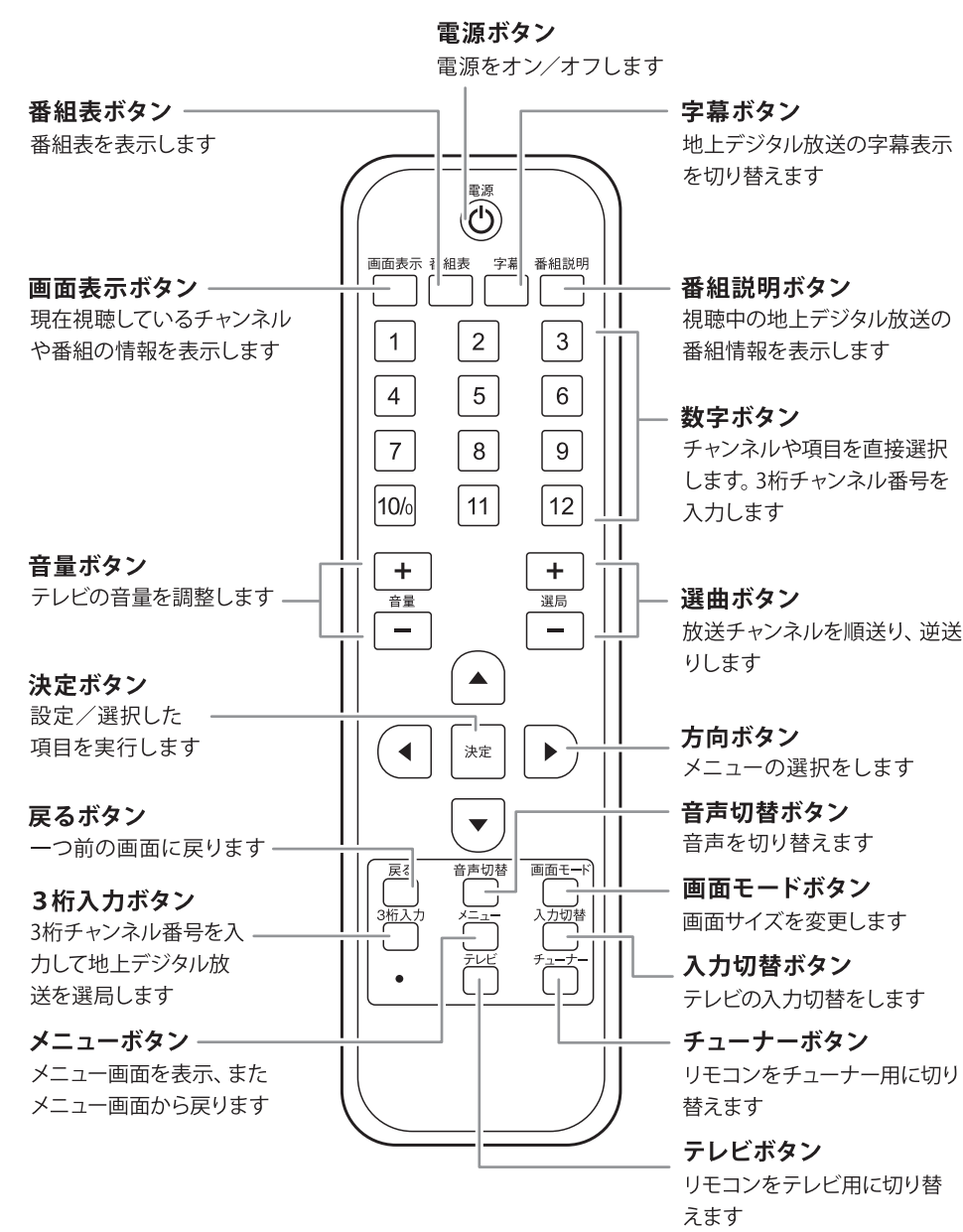
①デジタル放送を視聴中に、1 ～ 12 の数字ボタンを押します。

■3 桁 CH 入力での選局方法

①デジタル放送を視聴中に 3 桁入力 を押します。

② 1 ～ 10/0 でチャンネル番号 (3 桁の数字) を入力します。(10/0 は「0」として機能します)

・お住まいの地域によっては地域以外の電波を受信する場合があります。このチャンネルを番号入力にてダイレクト入力する場合は上記の入力方法で選局するか、▲▼で選局してください。

リモコンについて

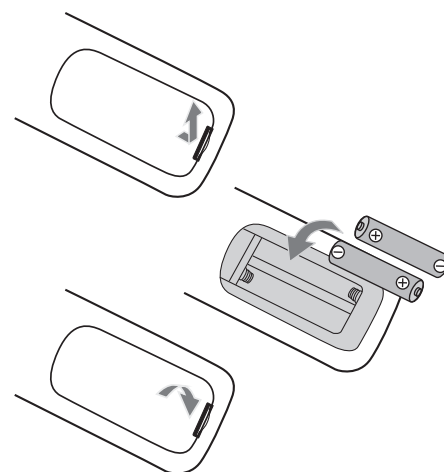
各ボタンの説明

電池の入れ方

次の手順に従って電池を入れてください。

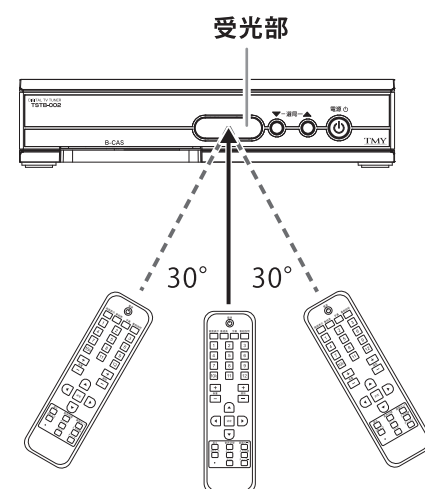
①リモコン背面の電池ホルダーのフタを開けます。

②電池ホルダーに電池をセットします。

・リモコン用電池は同梱されていません。
　別途お買い求めください。
　（電池は単４形電池２本を使用します）
・＋－の表示通りに入れてください。

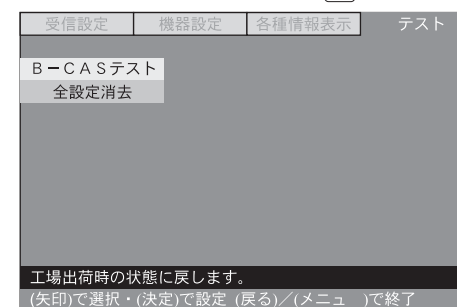
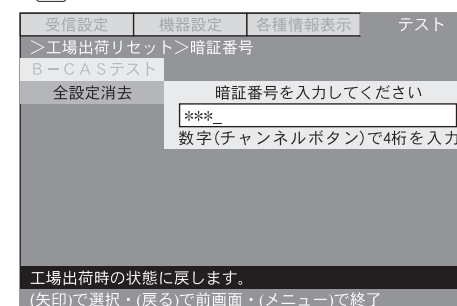
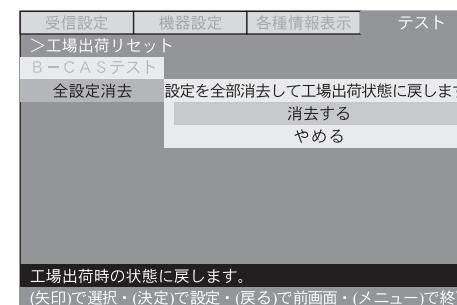
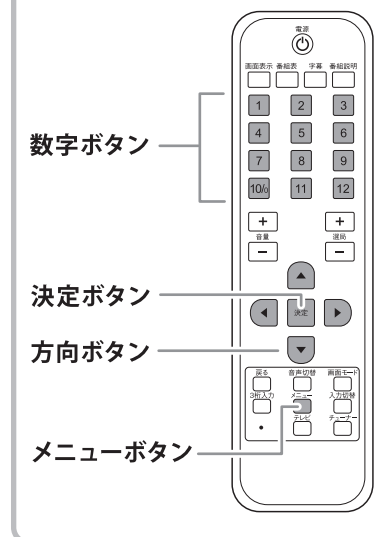
③電池ホルダーのフタを元どおりに閉めます。

リモコンの使い方

リモコンを使用する際は、本体前面の受光部から上下左右に各３０度以内の範囲から操作するようにしてください（特に本体から1.2m以上離れる場合）。リモコンの発信部と本体前面の受光部の間に、信号を遮るものがないようにしてください。

本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく作動しない場合があります。その場合は、光が当たらないようにする、リモコンの角度を変える、受光部に近づけて操作するなどしてください。

ご購入後、最初にリモコンをお使いになる前に下記の設定を行ってください。
①リモコンのチューナーボタン を押します。
②リモコンの電源ボタン を押しながら、３桁のコード「696」を数字ボタンで入力します。
※リモコンの電池を入れ替えると上記設定がリセットされます。再度設定しなおしてください。

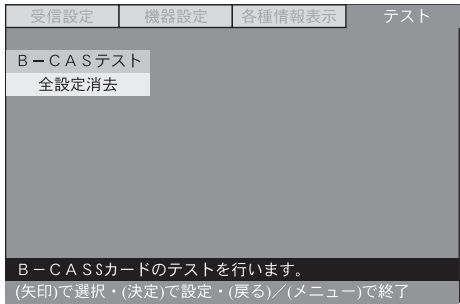
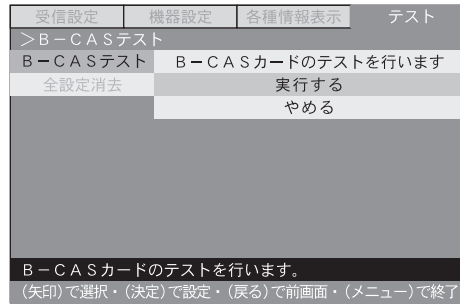
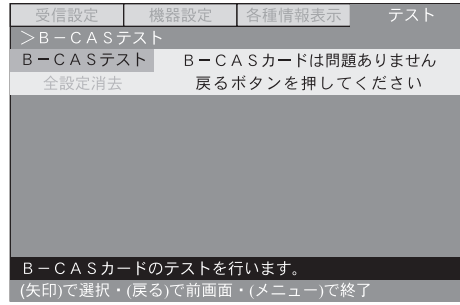
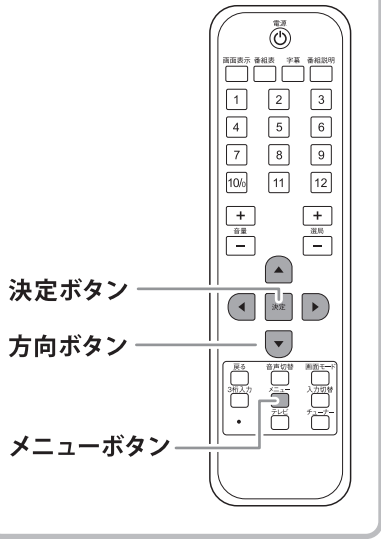
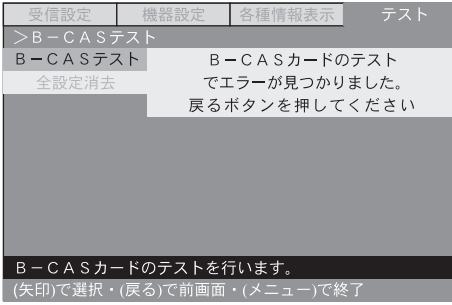
全設定を消去する

「全設定消去」を選び、設定項目を工場出荷状態に戻します。

①メニュー を押し、 で「テスト」を選び、 で「全設定消去」を選び、 を押します。

③ 1 ～ 10/0 で暗証番号４桁を入力します。
（10/0 は「0」として機能します）。

① で「消去する」を選び、 を押すと工場出荷時の設定に戻ります。

■使用するボタン

・工場出荷時には暗証番号「9999」が設定されています。

B-CASカードの動作テスト

B-CASカードの動作をテストする

①メニュー を押し、◀ ▶で「テスト」を選び、
▲▼ で「B−CAS テスト」を選び、決定を押します。

②▲▼で「実行する」を選び、決定を押します。

③B−CAS カードは問題ありません。

■使用するボタン

③B−CAS カードのテストでエラーが見つかりました。このとき、B−CAS カードの差し込み状態を確認してください。

テレビのリモコンとして使う

同梱されているリモコンで、ご自宅のテレビの操作（音量調節、チャンネル選択、入力切替、音声切替など）が可能です。次の手順でリモコンの設定を行ってください。

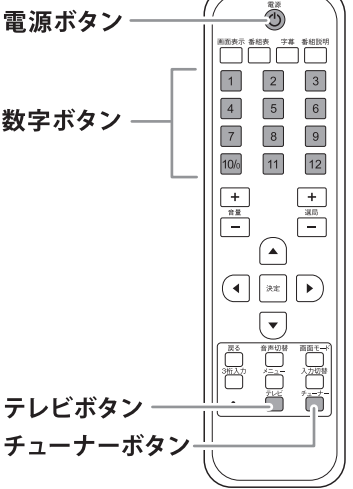
①リモコンのテレビボタン を押します。

②リモコンの電源ボタン を押しながら、ご使用になるテレビメーカーの 3 桁のメーカーコード（下記表を参照）を 1 〜 10/0 で入力します。
（ 10/0 は「0」として機能します）。

③ を押すとチューナーの操作用に、 を押すとテレビの操作用リモコンに切り替わります。

■使用するボタン

■テレビメーカーコード（3桁）一覧

テレビの種類 / メーカー名	アナログBS チューナー内蔵	地上デジタル／BSデジタルチューナー内蔵
ソニー	000〜004	170〜172、254
パナソニック	010〜014	180、181
東芝	020〜022	190〜192
日立	030〜035	200〜203
三菱	040〜044	210、211
ビクター	050〜052	220〜222
サンヨー	060〜063	230〜233
アイワ	070〜072	
シャープ	080〜082	240、241
フナイ	090〜092	
NEC	100〜103	
富士通	110〜114	
パイオニア	120	250、251
フィリップス	130	
DXアンテナ		252
サムスン	140〜143	
LG電子	145、146	
DAEWOO	150〜153	
TMY		253
その他	160〜163	

・テレビによっては対応していないものもあります。

・お買い上げ時には必ず、ご使用になるテレビのコードを左記の表で確認し、リモコン裏面のシールに記入してください。

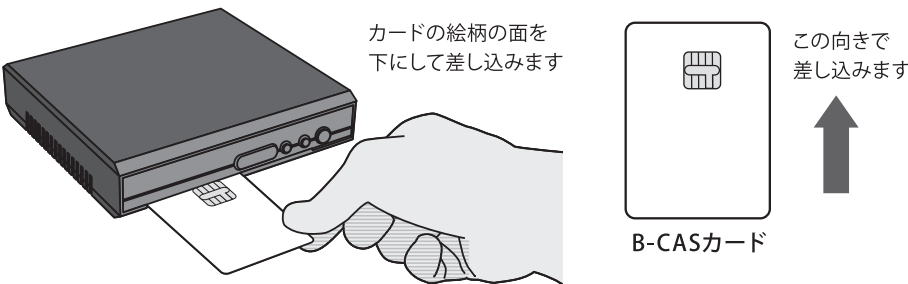
B-CASカードの挿入

B-CASカードについて

同梱されている B-CAS カードは、地上デジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。ご使用になる前に、カードが添付されている用紙の内容をよく理解した上で、カードを取り出し、ご使用ください。

- 付属の「B-CAS カード　ユーザー登録はがき」に必要事項を記入し、郵送してください。
  B-CAS カード ID は必ず登録してください（登録は無料です）。
- B-CAS カードの取り扱いおよび保管に関しては、お客様ご自身の責任となります。
- 万一カードを破損、紛失した場合、またカードに不具合があった場合は、下記の B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。
  株式会社　ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
  カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

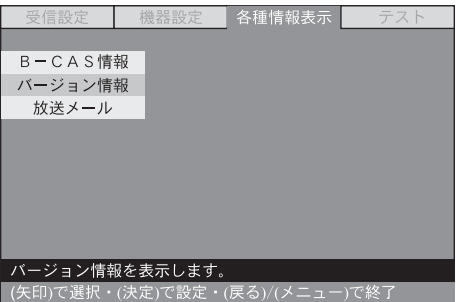
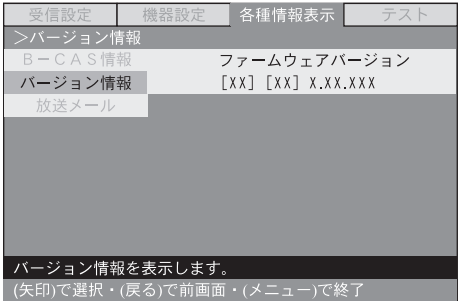
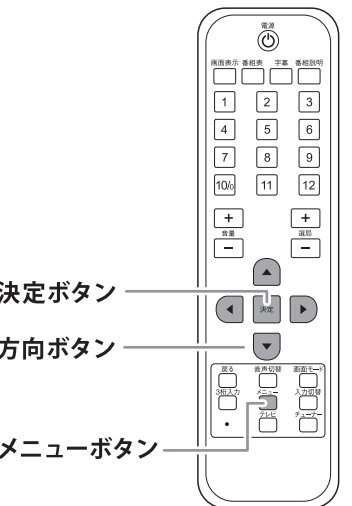
B-CASカードを挿入する

地上デジタル放送を視聴するときは、付属の B-CAS カードを必ず本製品に挿入してください。

裏返しや逆方向に挿入しないでください。挿入方向を間違えると B-CAS カードが機能せず、地上デジタル放送を視聴できません。

■B-CAS カード取扱い上のご注意

- カード裏面の端子部（金色の部分）には、手を触れないでください。
- 重いものの下敷きにしたり、踏みつけたり、曲げたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- ご使用中に B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなったり、本製品の故障の原因になる恐れがあります。
- B-CAS カードを抜く前に、本製品の AC アダプターをコンセントから抜いてください。

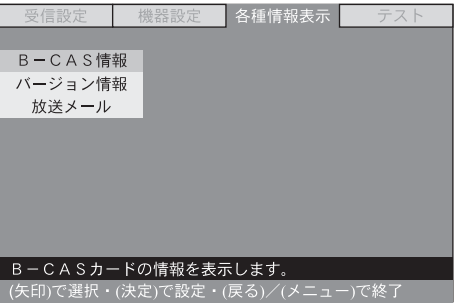
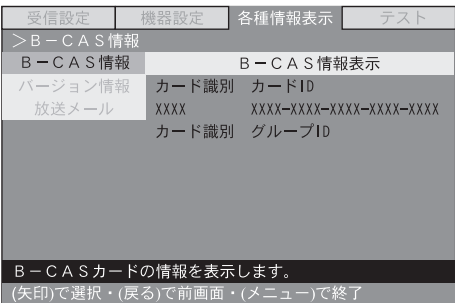
バージョン情報を見る

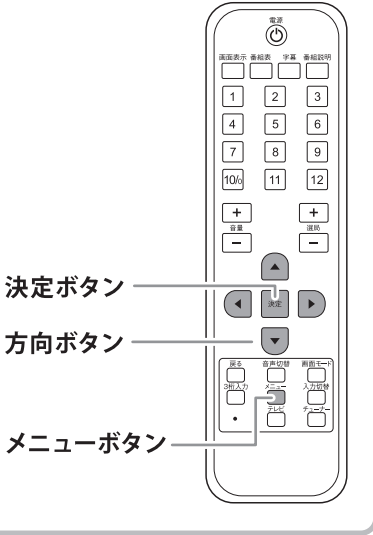
①メニュー を押し、 で「各種情報表示」を選び、 で「バージョン情報」を選び、 を押します。

②バージョン情報を確認した後にメニュー で終了します。

■使用するボタン

各種情報表示

B-CASカードの情報を見る

B−CAS カードの情報を表示します。本機から B−CAS カードを取り外さなくても、リモコン操作によりカード番号が確認できます。

①メニュー を押し、 で「各種情報表示」を選び、 で「B−CAS 情報」を選び、 を押します。

②カード情報を確認した後にメニュー で終了します。

■使用するボタン

・「B−CAS カード ID」は、お問い合わせの際にも必要です。

接続

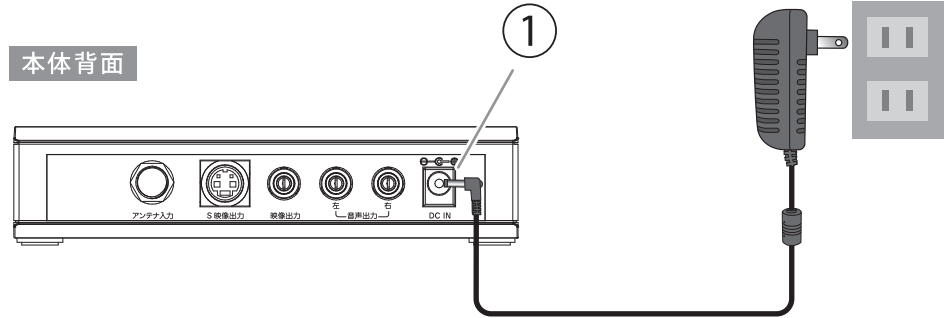
ACアダプターをつなぐ

・AC アダプターは、本体側を先に接続して、コンセントを接続してください。

⚠ 警告

AC アダプターは付属のもの以外は使用しないでください。発熱による火災の原因になります。

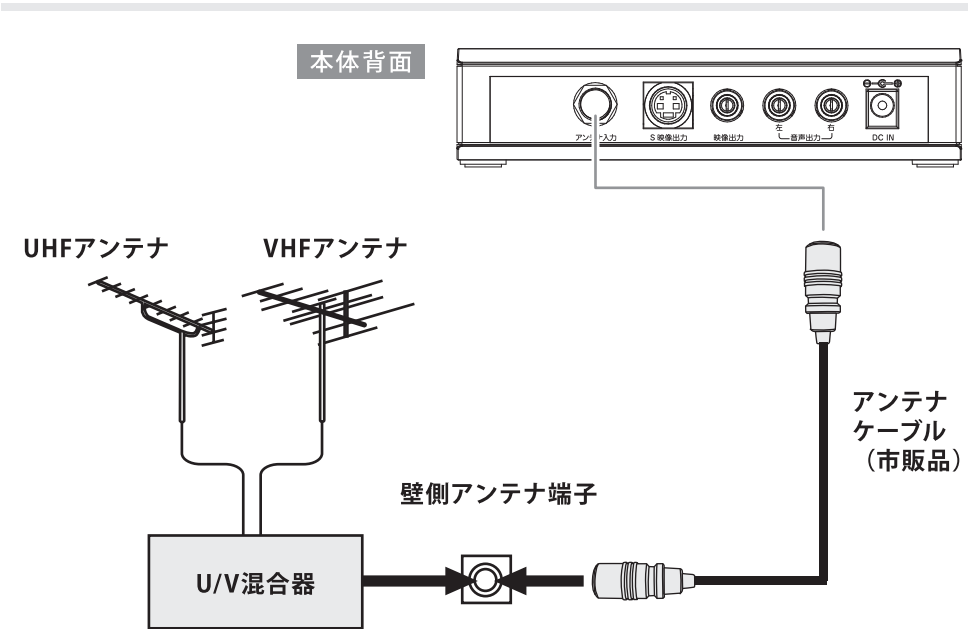
①本体背面の電源端子に、付属の AC アダプターを接続します。

②AC アダプターをコンセントに差し込みます。
メニュー画面が表示されます。

アンテナ線をつなぐ

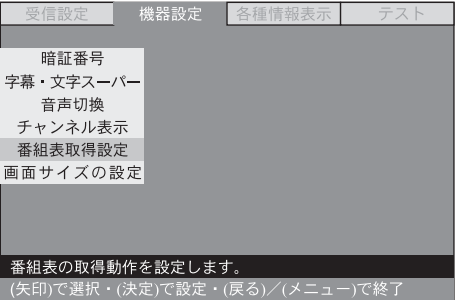
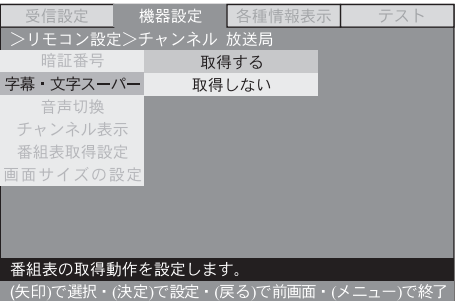
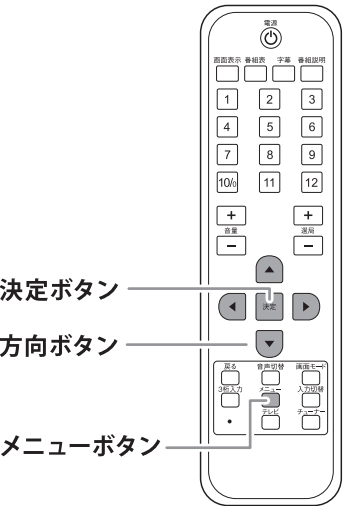
地上デジタル放送を受信するためには UHF アンテナ（市販品）が必要です。

・現在お使いのアンテナが UHF または UHF ／ VHF 混合アンテナの場合はそのままご使用できることがあります。
・アンテナの向きの変更が必要になる場合があります。
・ 詳しくは、お近くの電器店や設置業者にご相談ください。

■接続のしかた

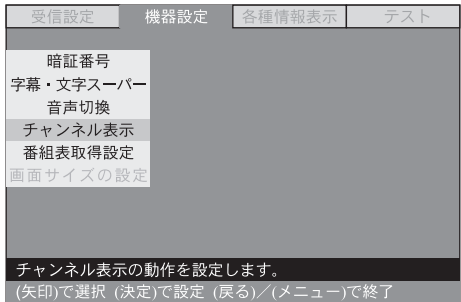
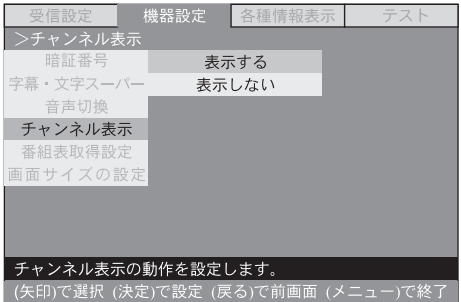
アンテナと接続する場合は、本製品を電源コンセントから抜いて接続してください。

・アンテナ工事には危険が伴いますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
・接続するときは必ず本体および接続機器の電源を切ってください。
・平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。VHF ／ UHF アンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
・アンテナ線をデジタル機器に近づけないでください。
・ケーブルテレビでご視聴の場合は、ご契約されているケーブルテレビ会社にご相談ください。
・マンションなどの集合住宅の場合は、お住まいの共聴設備が地上デジタル放送に対応しているかご確認ください。
・VHF ／ UHF アンテナは定期的に点検または交換してください。屋外のため、傷みやすく性能が低下します。映りが悪くなった場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

番組取得を設定する

①メニュー を押し、で「機器設定」を選び、で「番組取得設定」を選び、を押します。

②で「取得する」を選び、を押します。

・お買い上げの時点や電源を入れたときなどは、番組情報がしばらく表示されないことがあります。
・番組情報を取得するには電波状況によって多少時間がかかることがあります。
・放送局の都合によって、番組が変更になることがあります。このような場合は、実際に放送されている内容と番組表示が一致しないことがあります。
・本機の電源がスタンバイ状態のとき（赤ランプ点灯）に約 30 分で番組情報が更新されます。地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴しているチャンネルの番組内容のみが更新されます。別チャンネルの内容を更新したい場合は、その見たいチャンネルを選択してください。受信状態によって、番組内容を取得できない場合があります。

チャンネル表示を設定する

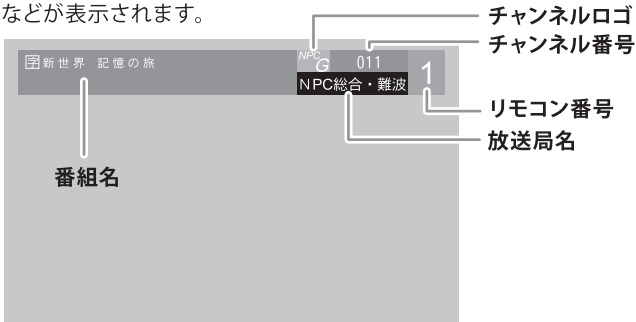
「表示する」を選び、チャンネルを切り替えて、視聴中の番組のタイトルなどを表示します。

①メニュー を押し、◀ ▶で「機器設定」を選び、
▲▼ で「チャンネル表示」を選び、決定を押します。

②▲▼で「表示する」を選び、決定 を押します。

③画面表示 を押すと、視聴中の番組のタイトルなどが表示されます。

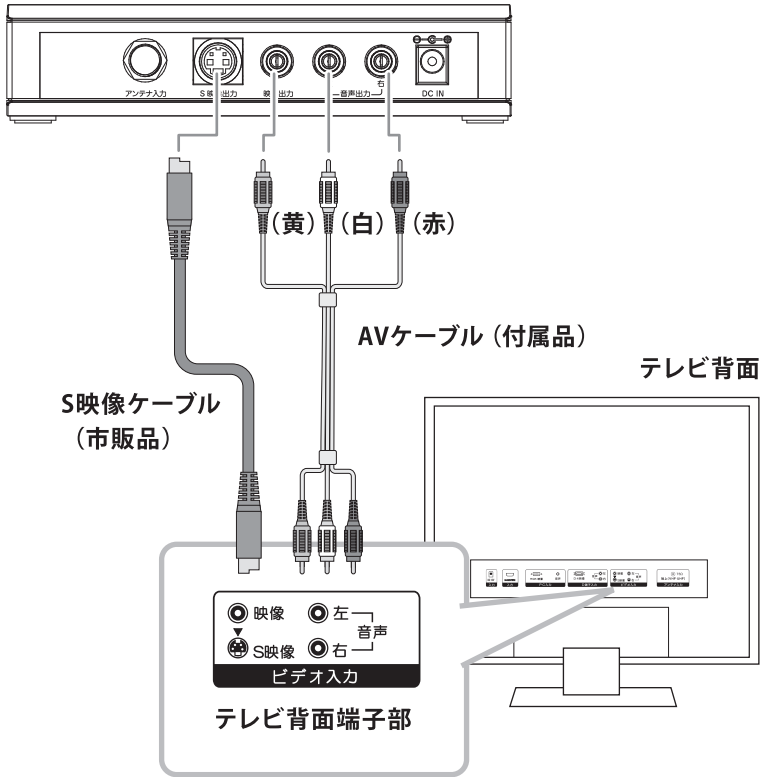
チャンネルロゴ
チャンネル番号
リモコン番号
放送局名
番組名

表示中に画面表示 を押すと表示が消えます。

■使用するボタン

画面表示ボタン
決定ボタン
方向ボタン
メニューボタン

テレビをつなぐ

テレビ側の接続については、テレビの取扱説明書の指示に従ってください。

■ビデオ出力端子（S 映像／映像出力）を利用する場合

受信設定

■地上デジタル放送の受信環境についてのご注意

・地上デジタル放送を受信するには地上デジタル放送の送信局に向けてアンテナを設置する必要があります。専用の UHF アンテナやデジタル放送対応のブースター、混合器などが必要になる場合があります。放送エリア内であっても地形や建物などによって電波が遮られ受信できない場合があります。チャンネルにより受信感度が異なり、上記の諸条件によりチャンネルが受信できない場合があります。

・マンションなどの共同受信設備がデジタル放送に対応してない場合があります。その際はマンションの管理者や共同受信組合など施設を管理運営している団体、会社などにご相談ください。

・本機はケーブルテレビのパススルー方式に対応しております。チャンネル設定時に「探す（全チャンネル）」を選んでください。詳しくはご利用のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

・室内アンテナを使用する場合、設置場所の周囲の電波状況、障害物、設置環境によっては、電波状況が悪くなり、映像、音声が停止したり、ノイズが出て使用できなくなることがあります。室外に設置されたアンテナなど受信状況の良いアンテナに接続されることをおすすめします。

■地上デジタル放送チャンネルを受信するため、地域設定をお住まいの地域に設定します。チャンネル設定の前に、必ず地域設定をしてください。

■放送チャンネルはリモコン数字ボタンに登録することができます。

■受信設定を行う前に

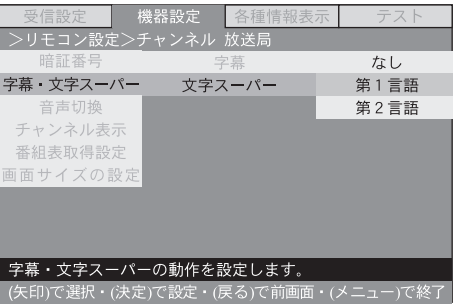
・B－CAS カード正しく挿入してください。（16 ページをご参照ください）

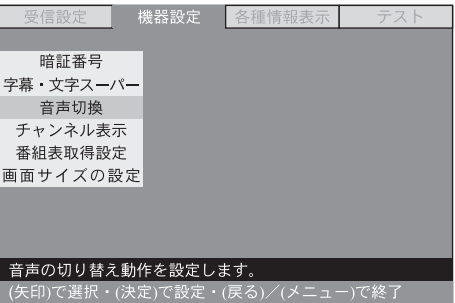
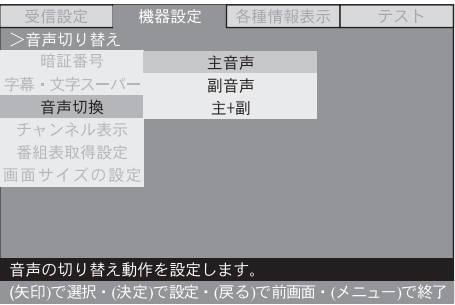
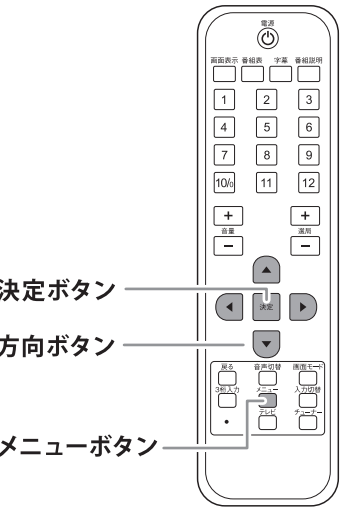
裏返しや逆方向に挿入しないでください。挿入方向を間違えると B-CAS カードが機能せず、地上デジタル放送を視聴できません。

・テレビの電源を入れてください。

・テレビの入力は本機を接続しているビデオ入力に切り替えてください。

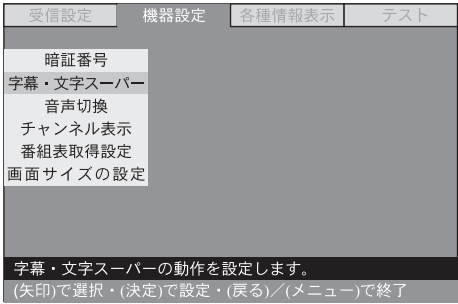
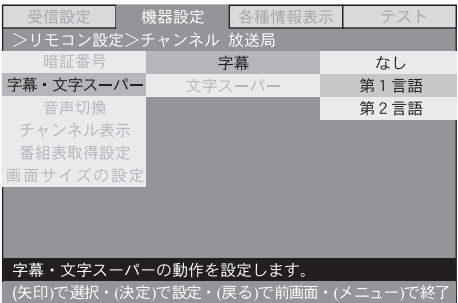
・本機の電源を入れてください。本体またはリモコン電源ボタンで、電源を「入」にします。

③同じ方法で、文字スーパー「なし」、「第 1 言語」、「第 2 言語」を切り替えることができます。

音声を切り換える

①メニュー ［メニュー］ を押し、◀ ▶で「機器設定」を選び、▲ ▼ で「音声切換」を選び、［決定］ を押します。

②▲ ▼で「主音声」「副音声」「主＋副」を選び、［決定］を押します。

■使用するボタン

字幕・文字スーパーを設定する

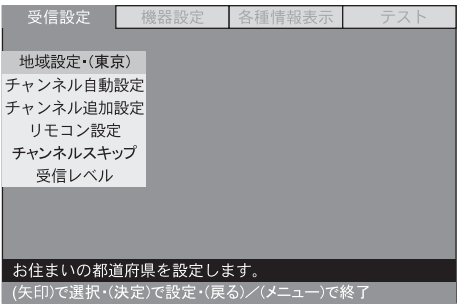
字幕・文字スーパーが配信されている番組では、表示方法を設定することができます。
出荷時は字幕「なし」、文字スーパー「第１言語」に設定されています。

・字幕：放送されている映像、音声と同期した字幕サービス（訳字字幕など）
・文字スーパー：放送されている映像、音声と同期にしていない字幕サービス
（ニュース速報、編成ことわり、時報など）

①メニュー を押し、◀ ▶で「機器設定」を選び、▲▼ で「字幕・文字スーパー」を選び、決定を押します。

②▲▼で「字幕」を選び、決定 を押します。
▲▼で「なし」、「第１言語」、「第２言語」を選び、決定 を押します。

■使用するボタン

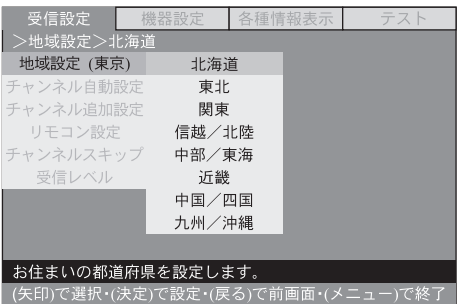
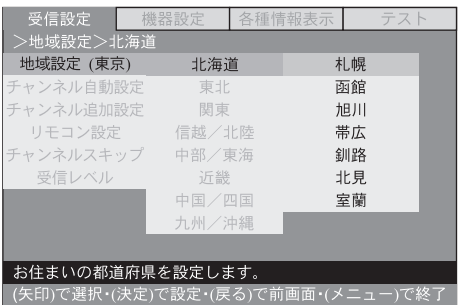
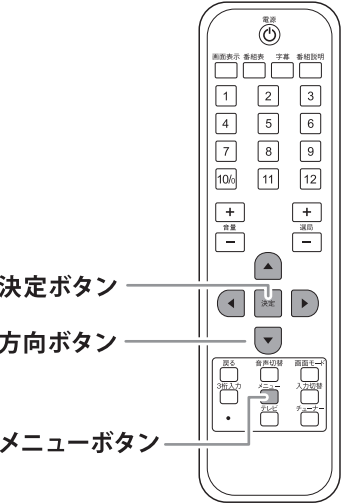
地域を設定する

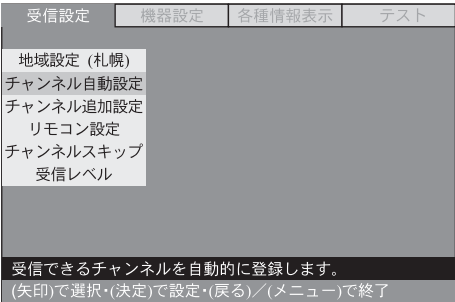
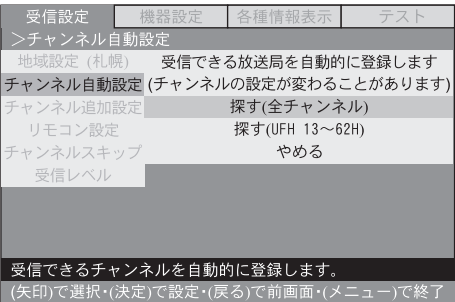
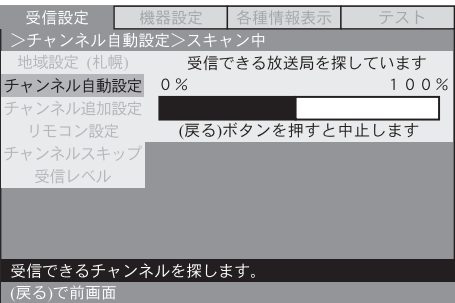
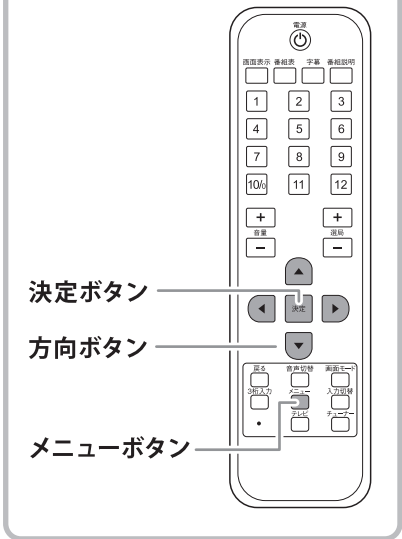
地上デジタル放送チャンネルを受信するため、地域設定をお住まいの地域に設定します。
チャンネル設定の前に、必ず地域設定をしてください。

①メニュー を押し、◀ ▶で「受信設定」を選び、▲▼ で「地域設定（東京）」を選び、決定を押します。

② ▲▼でお住まいの地域を選び、決定を押します。

③ ▲▼でお住まいの都道府県を選び、決定を押します。

■使用するボタン

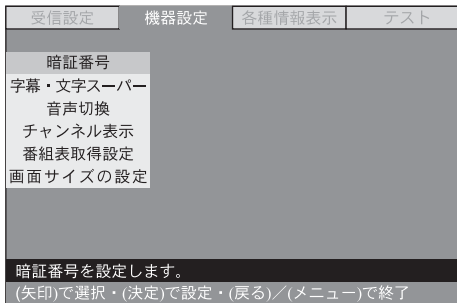
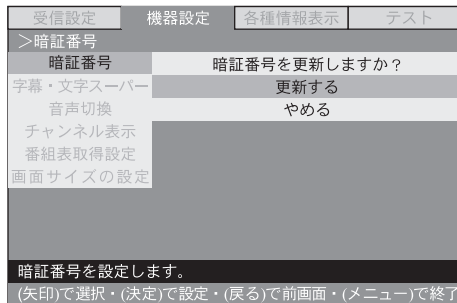
決定ボタン
方向ボタン
メニューボタン

受信チャンネルを自動設定する

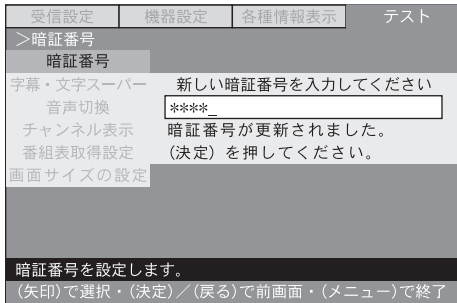
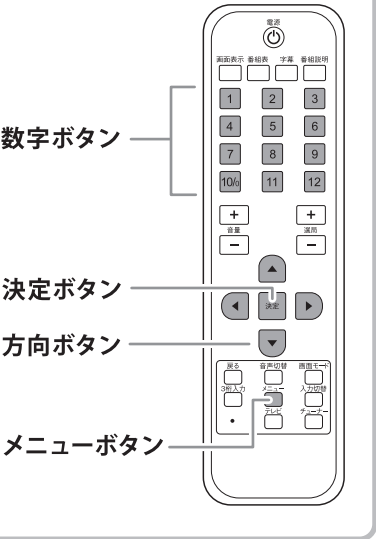
①メニュー を押し、 で「受信設定」を選び、 で「チャンネル自動設定」を選び、 を押します。

② で「探す（全チャンネル）」を選び、 を押します。

③スキャンがはじまりますので、しばらくおまちください。

■使用するボタン

機器設定

暗証番号を設定する

４桁の数字を暗証番号として設定します。全メニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻すときに必要になります。工場出荷時には「9999」が設定されています。

①メニュー を押し、 で「機器設定」を選び、 で「暗証番号」を選び、 を押します。

② で「更新する」を選び、 を押します。

③ 1 ～ 10/0 で現在の暗証番号４桁を入力します。
（ 10/0 は「0」として機能します）。

■使用するボタン

数字ボタン
決定ボタン
方向ボタン
メニューボタン

・暗証番号を忘れると、暗証番号の解除ができなくなります。暗証番号はメモに残すなどして十分に管理してください。

⚠ 注意

- 受信レベルが高くても画面にノイズが発生する場合があります。原因として、アンテナから TV までの経路に取り付けられているブースターの性能が適していないことが考えられます。その場合はお買い上げの販売店または工事業者にご相談ください。
- 「電波の強さ」の値により、プログレスバーの色が変わります。受信レベルの目安は、下記の通りです。
  赤：0〜39%　→映像が正しく映りにくい受信レベル
  黄：40〜59%　→おおよそ正常に映る受信レベル
  緑：60〜100%　→正常に映る受信レベル
- 物理チャンネル（13〜62ｃｈ）：地上デジタル放送は、UHF の電波を使用しております。この電波は放送局ごとに割り当てられており、この割り当てられたチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

④スキャンが終わると、◀ ▶ で「更新する」（または「やめる」）を選び、決定 を押してメニュー で終了します。

- 「更新する」：今回スキャンした情報に更新する。
- 「やめる」：今回スキャンした情報に更新しない。

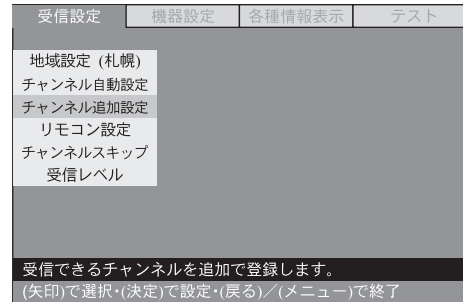
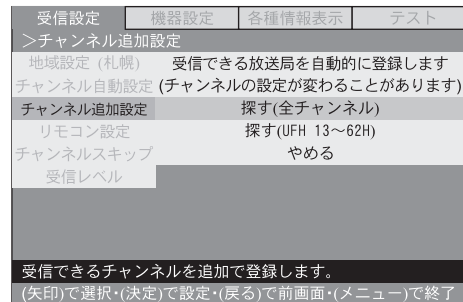
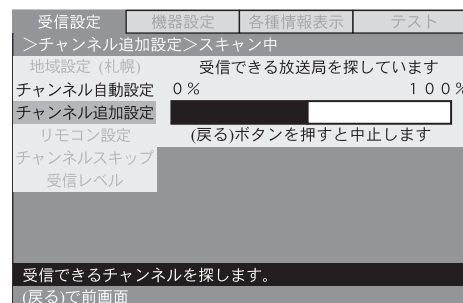
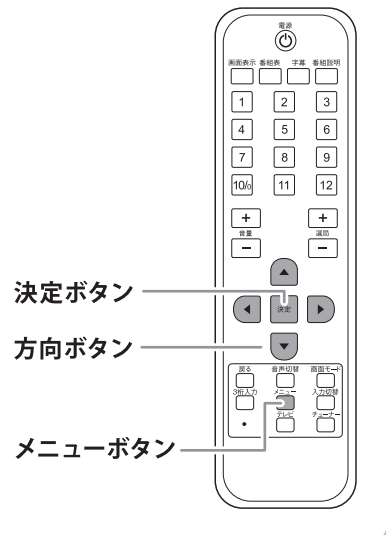
スキャン中に放送局が見つからなかった場合は、「見つかりませんでした」と表示されれます。

■使用するボタン

- スキャン中に放送局が見つかると、スキャン用チャンネルテーブルに書き込まれます。

チャンネルを追加設定する

すでに登録済のチャンネル以外に、新放送局などの新規チャンネルが追加された場合に、「探す（全チャンネル）」を選んでサーチして、チャンネルを追加します。

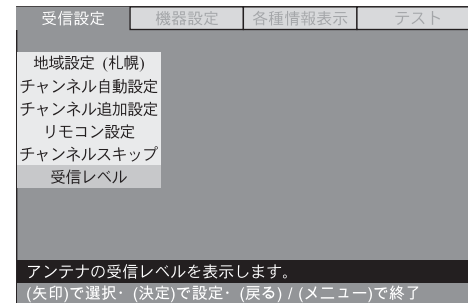
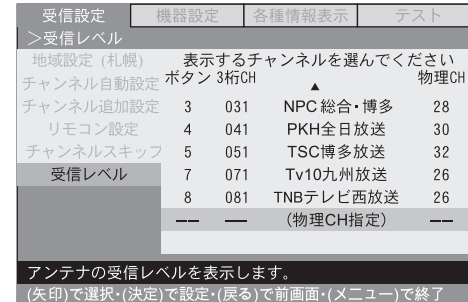
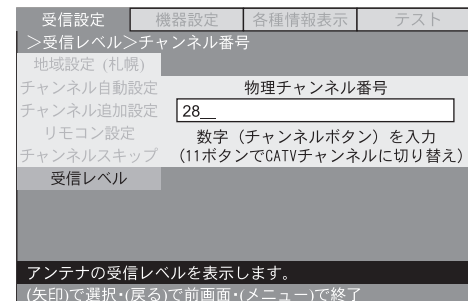
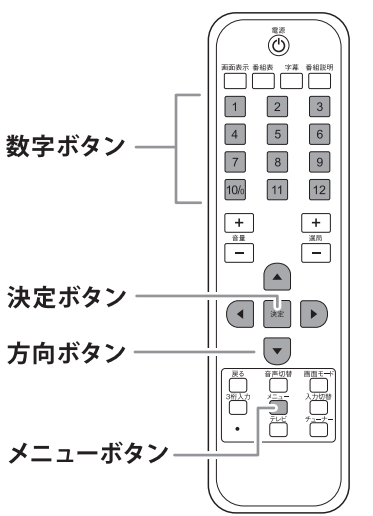
①メニュー を押し、 で「受信設定」を選び、
 で「チャンネル追加設定」を選び、 を押します。

② で「探す（全チャンネル）」を選び、 を押します。

③スキャンがはじまりますので、しばらくおまちください。

■使用するボタン

■物理チャンネルから選ぶ

①メニュー を押し、 で「受信設定」を選び、
 で「受信レベル」を選び、 を押します。

② で「物理 CH 指定」を選び、 を押します。

③ 1 ～ 10/0 でチャンネル番号を入力します。
（10/0 は「0」として機能します）。

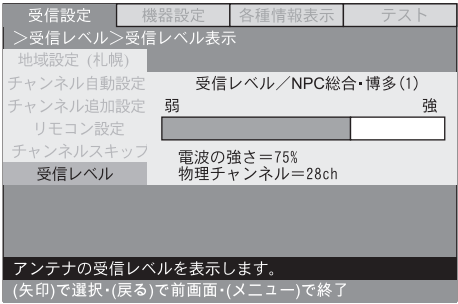
受信設定 機器設定 各種情報表示 テスト
＞受信レベル＞受信レベル表示
受信レベル／(物理チャンネル28ch)
弱 強
電波の強さ＝75%
物理チャンネル＝28ch
アンテナの受信レベルを表示します。
(矢印)で選択･(戻る)で前画面･(メニュー)で終了

11 で CATV チャンネルに切り替え、12 で地上デジタル放送のチャンネルに切り替えます。

■使用するボタン

・受信レベルが低い場合、アンテナの調整が必要になる場合があります。その際には、お近くの電器店や設置業者にご相談ください。

受信レベルを確認する

受信レベルは信号の品質を表します。高画質番組を楽しむためには、十分な受信レベル（目安 60%）を確保する必要があります。確認方法は次の 2 通りあります。

■チャンネルから選ぶ

①メニュー ［メニュー］ を押し、◀ ▶で「受信設定」を選び、▲▼ で「受信レベル」を選び、［決定］を押します。

②▲▼でチャンネルを選び、［決定］を押すと、受信レベルが表示されます。

受信設定　機器設定　各種情報表示　テスト

＞受信レベル

地域設定（札幌）
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

表示するチャンネルを選んでください

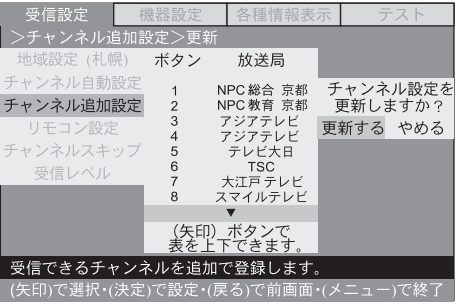
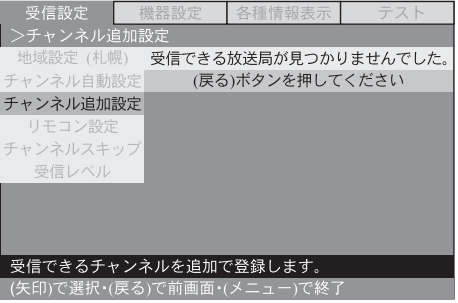
ボタン	3桁CH		物理CH
1	011	KBT九州大日放送	31
2	021	NPC 教育・博多	22
3	031	NPC 総合・博多	28
4	041	PKH全日放送	30
5	051	TSC博多放送	32
7	071	Tv10九州放送	26

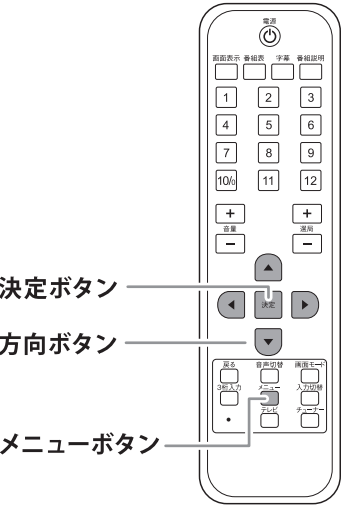
▼

アンテナの受信レベルを表示します。
(矢印)で選択・(決定)で設定・(戻る)で前画面・(メニュー)で終了

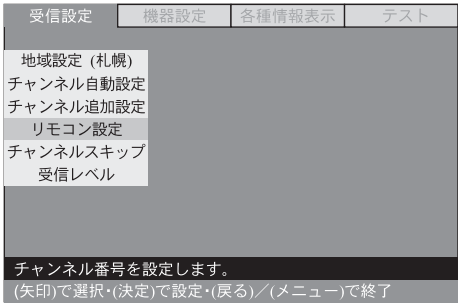
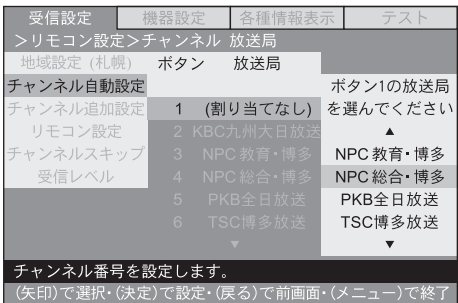
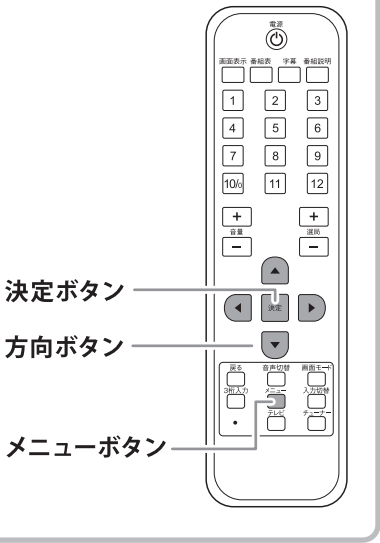
■使用するボタン

④スキャンが終わると、◀ ▶で「更新する」（または「やめる」）を選び、［決定］を押してメニュー ［メニュー］ で終了します。

・「更新する」：今回スキャンした情報に更新する。
・「やめる」：今回スキャンした情報に更新しない。

スキャン中に放送局が見つからなかった場合は、「見つかりませんでした」と表示されます。

■使用するボタン

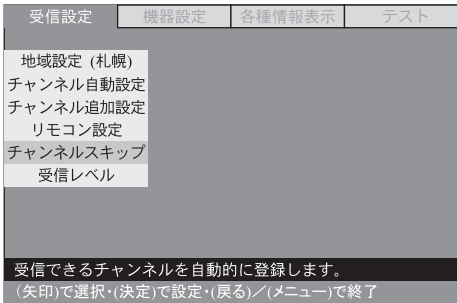
・スキャン中に放送局が見つかると、スキャン用チャンネルテーブルに書き込まれます。

リモコンを設定する

リモコンの数字ボタン[1]～[12]にお好みの放送局を割り当てる（現在の設定から変更する）ことができます。

①メニュー [メニュー] を押し、◀ ▶で「受信設定」を選び、▲▼ で「リモコン設定」を選び、[決定]を押します。

②▲▼で登録されているチャンネル（リモコン数字番号）を選び、[決定]を押します。
▲▼でお好みのチャンネルを選び、[決定]を押します。

■使用するボタン

チャンネルをスキップする

不要なチャンネルを飛び越して（スキップ）選局できます。

①メニュー [メニュー] を押し、◀ ▶で「受信設定」を選び、▲▼ で「チャンネルスキップ」を選び、[決定] を押します。

②▲▼でスキップさせたいチャンネルを選び、[決定]を押します。（複数の選択ができます）。

■使用するボタン